



協定書を交わす横山俊夫学長（左）と大橋弘常務執行役員
＝17日午後、静岡市葵区

地方創生推進へ協定

静岡文化芸術大と静岡銀

静岡文化芸術大と静岡銀は17日、地方創生の推進に向けて相互に協力、連携する協定を結んだ。静岡市葵区で式を開き、同大の横山俊夫学長と静岡銀の

大橋弘常務執行役員が協定書を交わした。互いの資源やノウハウを活用し、観光・まちづくり▽教育・人材育成▽地方創生に資する調査研究といった分野で協働する。地方創生で同大が金融機関と協定を締結するのは初めて。静岡銀は県立大に次いで2例目。横山学長はこれまでも双方が地方創生の活動を進めてきたとした上で、「協定によって大きな文脈ができた。いろいろなこと

をやる場合の位置感覚がはつきりしてくる」と期待を込めた。

大橋常務執行役員は協定を機に力を入れた取り組みとして、商品パッケージやチラシデザインについての取引先への情報提供や大学発ベンチャーの起業支援を挙げ、「実のあらゆる連携にしていきたい」と強調した。
(経済部・関本豪)